



shaping tomorrow with you

FUJITSU Software ServerView® Suite を使おう！

—シナリオ 7：ハードウェア状態の比較による、異常原因究明—

対象製品：ServerView Archive Manager

2013年12月

富士通株式会社

改版日	改版内容
2010. 2	新規作成
2011. 3	ServerView Operations Manager V5.0 に対応
2011. 8	富士通社外公開用の文書フォーマットに変更
2013.12	2013 年 12 月版の FUJITSU Software ServerView® Suite に対応

はじめに

FUJITSU Software ServerView® Suite は、PC サーバ FUJITSU Server PRIMERGY に標準添付されている、サーバ監視・管理ソフトウェアです。FUJITSU Software ServerView® Suite を使用することにより、サーバ管理者は、システム異常時の迅速な対応や原因の究明が可能、またシステムの安定した運用や管理が可能になります。

本資料の目的

本資料は、FUJITSU Software ServerView® Suite を用いたサーバ監視・管理作業の中から、代表的な作業の設定方法を、シナリオとしてご紹介するものです。

シナリオには以下があります。必要に応じて参照してください。

シナリオ No : タイトル	内容
0 : ServerView Operations Manager のインストール方法	ServerView Operations Manager / Agents のインストールを説明しています。
1 : ハードウェア異常監視① (メール通知等の設定)	ServerView Event Manager による、メール等での異常通知方法を説明しています。
2 : ハードウェア異常監視② (ハードディスクの詳細確認)	ServerView RAID Manager による、ハードウェアの異常監視方法を説明しています。
3 : CPU 負荷率の監視	ServerView Threshold Manager による、CPU 負荷率の監視方法を説明しています。
4 : スケジュール運転	サーバ起動・停止のスケジューリング設定方法を説明しています。
5 : CPU 負荷率やメモリ利用率、消費電力などのデータ採取	ServerView Performance Manager によるシステムの負荷状況、および ServerView Power Monitor による電力消費量の監視方法を説明しています。
6 : 自動再起動 (ServerView ASR&R)	ServerView ASR&R による、正常起動の監視、および異常時の自動再起動の設定方法を説明しています。
7 : ハードウェア状態の比較による、異常原因究明	ServerView Archive Manager による、ドライバ更新などのログ採取と、ログの比較によるエラー原因究明の方法を説明しています（本書）。

本資料におけるシステムの前提条件

本資料は、以下の環境を前提としています。サーバ機種の違いや、ServerView Operations Manager および ServerView Agents のバージョンの違いなど、異なる環境では操作方法や動作が異なる場合がありますので、御了承ください。

項目	内容
管理サーバ	PRIMERGY RX300 S6 (アレイタイプ)
監視対象サーバ	PRIMERGY RX300 S6 (アレイタイプ)
管理クライアント	FMV-S8245
サーバ OS	Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard
クライアント OS	Windows Vista® Business
Web ブラウザ	Windows® Internet Explorer® 8.0
ServerView Operations Manager	Version 5.11.2010 ※最新 Version 6.21.2013 と同様手順
ServerView Agents	Version 5.11.2010 ※最新 Version 6.21.2013 と同様手順

本資料を利用するにあたっての前提知識

本資料を利用するにあたって、以下の技術情報についての知識が必要となります。

- ・ PC サーバに関する一般的な知識
- ・ Windows®、Linux などの OS に関する一般的な知識
- ・ ネットワークに関する一般的な知識
- ・ FUJITSU Software ServerView® Suite に関する基礎知識

本資料を活用するにあたっての留意事項

本資料は、2013 年 12 月現在の情報を元に作成しています。最新の FUJITSU Software ServerView® Suite の情報については、各製品のマニュアルを参照してください。

本資料では、ソフトウェア名称などを、以下のように略称で呼ぶことがあります。

正式名称	略称
ServerView Operations Manager	SVOM
ServerView Installation Manager	SVIM
Remote Management Controller(iRMC)	iRMC

はじめに	3
1. サーバ監視・管理のシナリオ	6
1.1. シナリオ 7：サーバ情報の比較による原因究明	7
1.2. マシン構成	8
2. サーバ監視・管理の設定	9
2.1. サーバ情報の比較による原因究明	9
2.1.1. アーカイブデータの設定	9
2.1.2. アーカイブデータの参照	11
免責事項	13

1. サーバ監視・管理のシナリオ

FUJITSU Software ServerView® Suite は、サーバに異常が発生した場合はもちろんのこと、通常の運用時においても、PRIMERGY を用いたシステム運用を助ける様々な機能を持っています。

FUJITSU Software ServerView® Suite を利用して行う監視・管理は、以下の 7 種類に大別できます。

- ・ 異常を通知する（シナリオ 1）
- ・ 異常を検知し、対処する（シナリオ 2）
- ・ ハードウェアの日常的なパフォーマンスを監視する（シナリオ 3）
- ・ 運用タスクの自動化設定（シナリオ 4）
- ・ システムの性能データ監視（シナリオ 5）
- ・ 障害時の自動対処（シナリオ 6）
- ・ 障害原因の究明（シナリオ 7）

本資料では、「障害原因の究明」のシナリオを用意し、その設定について説明します。

1.1. シナリオ 7：サーバ情報の比較による原因究明

FUJITSU Software ServerView® Suite は、ハードウェアやドライバなど、サーバの情報を定期的に取得して保存できます。また、過去の情報と最新の情報を比較して、変更された箇所を特定することも可能です。

シナリオ 7：

企業 D には同機種のサーバが複数運用されており、これらのサーバは多拠点で複数の管理者により運用されています。現在、これらのサーバのシステムアップデートに関するルールがないため、拠点ごとに最新ドライバの適用やパッチ適用を行っています。

ある拠点で運用しているサーバに不具合が発生しました。ところが、パッチ適用などの保守業務は拠点管理者に任せており、記録が残っていないため原因がわかりません。拠点管理者に相談された管理者 A さんは、定期的に取得しているアーカイブデータを用いて、他の拠点で正常稼働している、同じ構成のサーバと情報を比較しました。そして、問題の原因を探り、拠点管理者に原因をフィードバックしました。

■このシナリオで事前に設定する項目

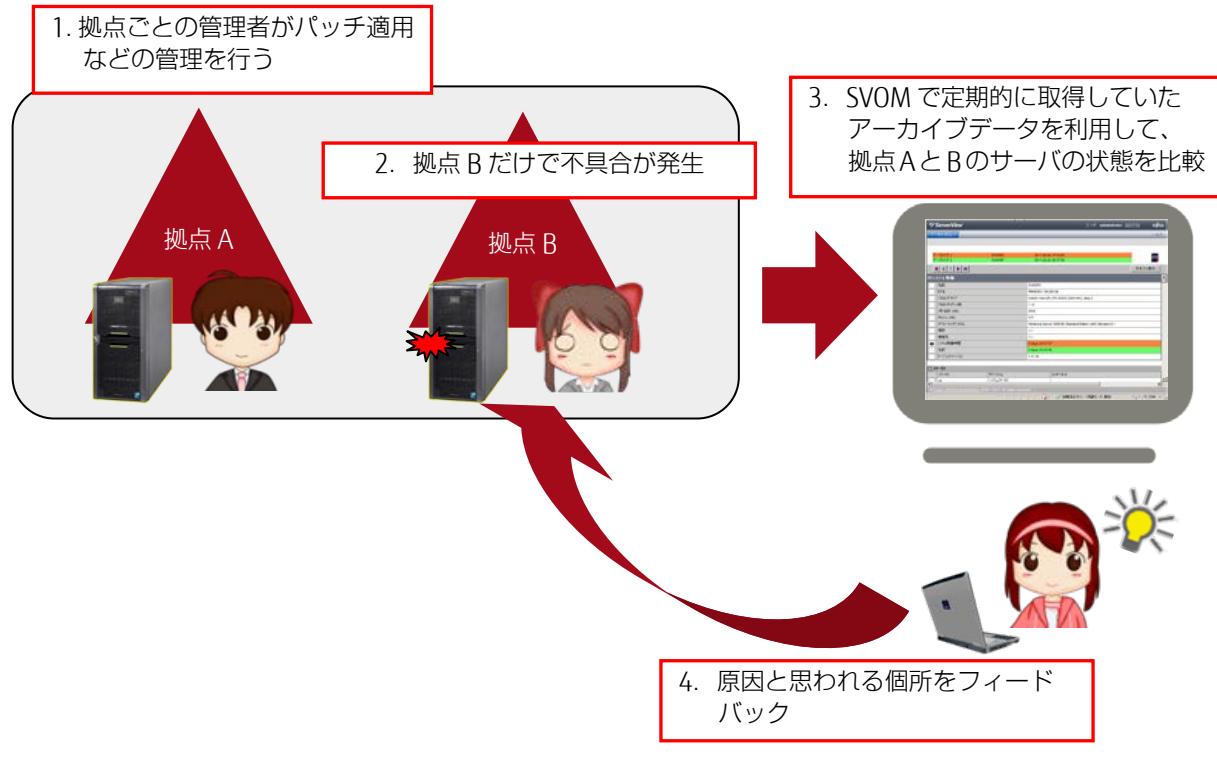
このシナリオでは、ServerView Operations Manager で以下の項目を設定し、情報を収集します。

- 毎日 15 時にサーバの状態を取得するよう、ServerView Archive Manager を設定

■対処の際に利用する機能

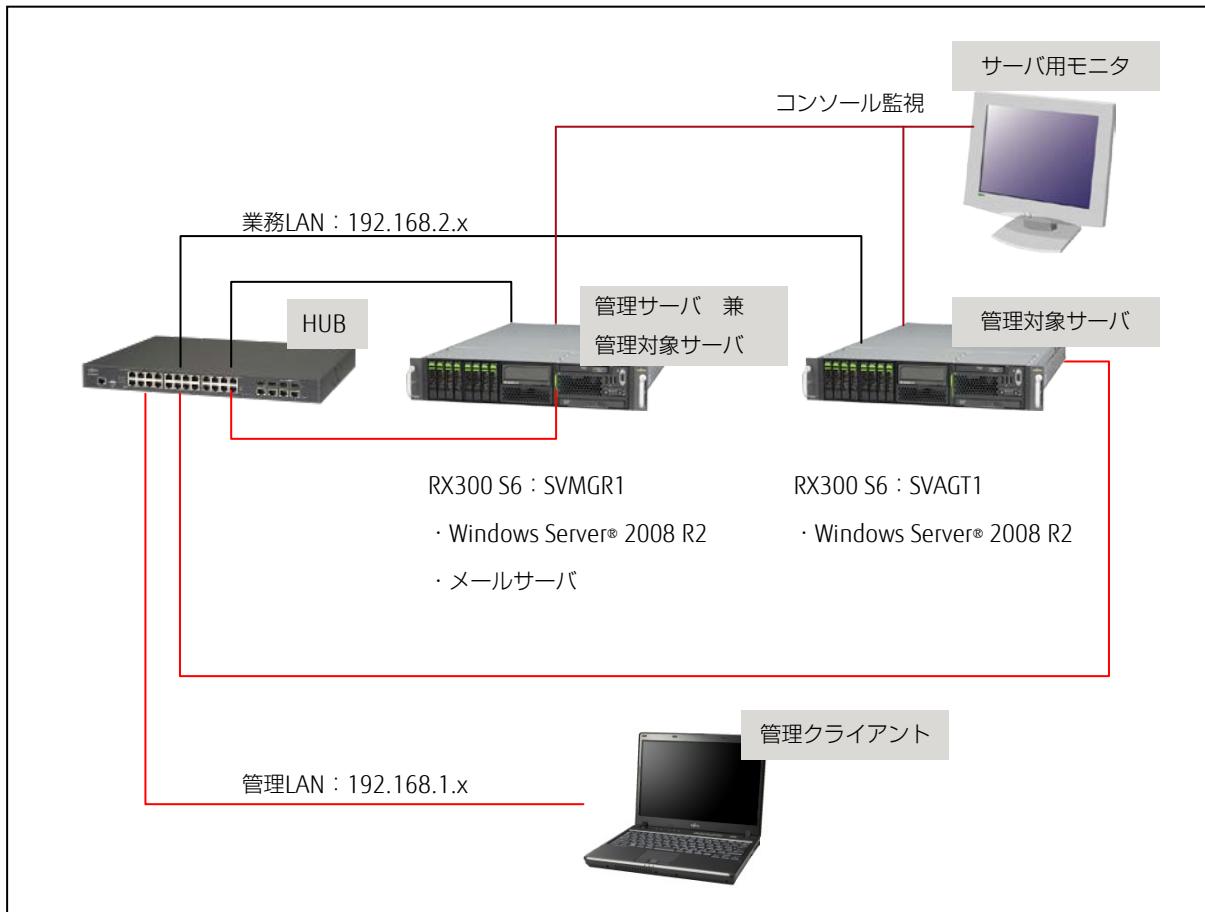
- 2 つのサーバの状態を比較→ServerView Operations Manager の ServerView Archive Manager のデータ参照および比較機能

シナリオ 7 の運用イメージ



1.2. マシン構成

シナリオの基本構成となる環境は以下のとおりです。



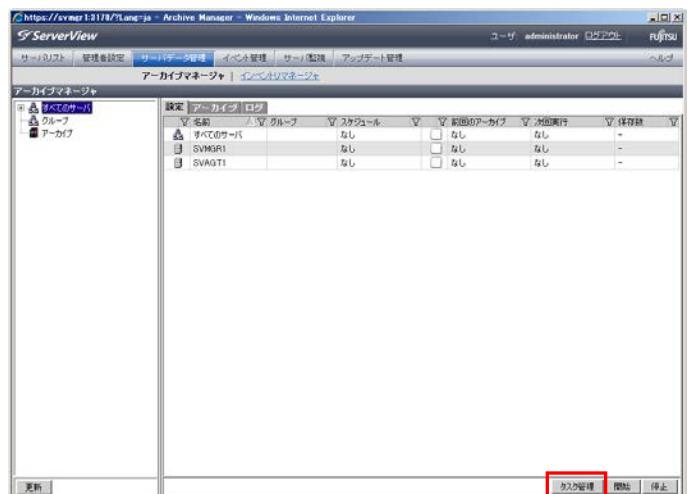
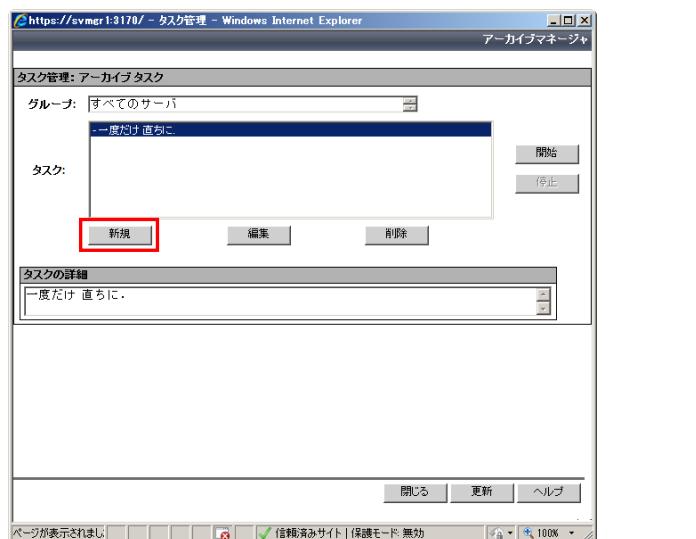
2. サーバ監視・管理の設定

2.1. サーバ情報の比較による原因究明

FUJITSU Software ServerView® Suite では、ドライバの更新などのハードウェアに関する様々な情報を定期的に保存しておき、過去の状態と比較できます。この機能を用いることで、間違ったドライバをインストールしたことに起因するエラーなどの原因究明を行うことが可能です。

2.1.1. アーカイブデータの設定

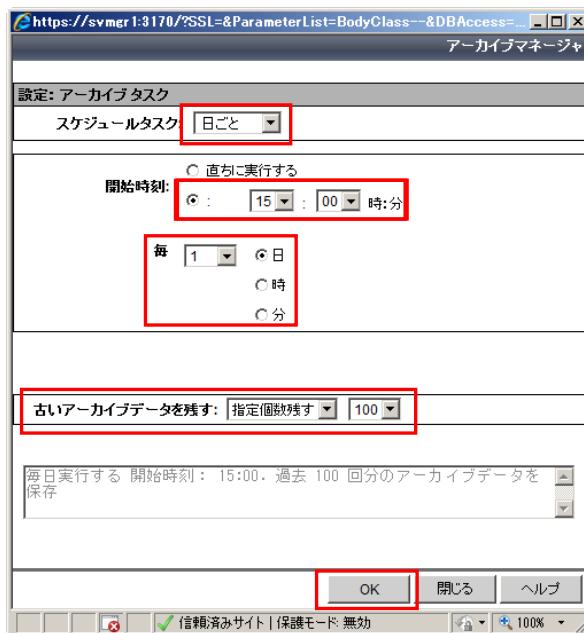
ここでは、ServerView Archive Manager を用いて、サーバのハードウェアの情報を定期的に取得し、過去の情報と比較することで、ドライバのアップデートなどの監視を行う方法をご紹介します。

アーカイブタスクの設定	
1. SVOM のメニューから「サーバデータ管理」→「アーカイブマネージャ」とクリックし、アーカイブマネージャ画面を表示します。 「設定」タブの「タスク管理」をクリックします。	
2. 設定画面で、「新規」をクリックします。	

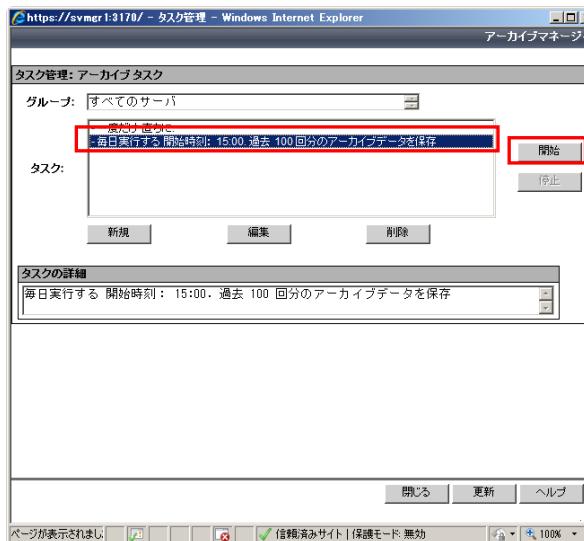
3. 今回の例では、毎日 15 時にデータ取得を行うため、以下の設定を行います。

- ・スケジュールタスク：日ごと
- ・開始時刻：15:00
- ・毎 1 日
- ・古いアーカイブデータを残す：指定個数残す 100

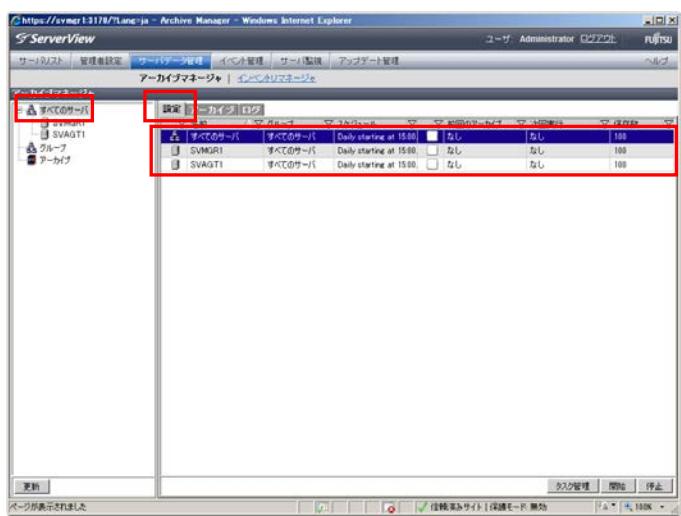
4. 完了したら、「OK」をクリックします。



5. 作成したタスクが一覧に追加されていることを確認後、そのタスクを選択し、「開始」をクリックします。



6. 左側のツリーから「すべてのサーバ」を選択し、「設定」タブをクリックします。作成したタスクが表示されていることを確認します。



2.1.2. アーカイブデータの参照

2.1.1 章で設定し、定期的に取得したアーカイブ情報を参照する方法を紹介します。

アーカイブデータの参照	
<p>1. SVOM のメニューから「サーバデータ管理」→「アーカイブマネージャ」とクリックし、アーカイブマネージャ画面を表示します。 「アーカイブ」タブをクリックします。</p>	
<p>2. 取得したアーカイブデータの一覧から、参照したいデータを選択し、「表示」をクリックすると、データが表示されます。</p>	
<p>3. 右のチェックボックスから、必要な情報だけを選んで表示することも可能です。</p>	

アーカイブデータの比較

4. アーカイブマネージャ画面で、「アーカイブ」タブをクリックします。
5. 取得したアーカイブデータの一覧から、参照したいデータを 2つ選択し、「比較」をクリックします。

The screenshot shows the 'Archive' tab selected in the navigation bar. In the main content area, there is a table titled 'アーカイブ' (Archive) with two rows of data. A red box highlights the table header. Below the table, a callout box with the text '2つを選択' (Select 2) points to the table. At the bottom right of the main content area, there is a row of buttons with '比較' (Compare) highlighted by a red box.

6. 比較結果が表示されます。相違のあるデータはオレンジ色と緑色に色付けされて表示されます。相違のある部分を参照することにより、不具合の原因を推測できます。
別の相違点を参照したい場合は、ナビゲーションバーのボタン（◀や▶など）を利用すると簡単に移動できます。

The screenshot shows the 'Archive View' window with two rows of data. The first row has a green header and the second row has a green header. Below the rows, there is a navigation bar with four arrows: left, right, up, and down. The main content area displays detailed system information for each row, such as '名前' (Name), 'モデル' (Model), 'プロセッサ' (Processor), etc. Some specific values in the table are highlighted with orange or green colors to show differences between the two archive entries.

免責事項

免責事項

- 著作権・商標権・その他の知的財産権について

本資料は、著作権・商標権・その他の知的財産権で保護されています。個人的に使用する範囲で本書をプリントアウトまたはダウンロードできます。ただし、これ以外の利用（資料の改変、御自分のページへの再利用や他のサーバへのアップロードなど）については、当社または権利者の許諾が必要となります。

- 保証の制限

本資料について、当社は、その正確性、商品性、御利用目的への適合性等に関して保証するものではなく、その御利用により生じた損害について、当社は法律上のいかなる責任も負いかねます。本書は、予告なく変更・廃止されることがあります。

商標登記について

- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。
- インテル、Intel は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- 記載されている会社名、製品名等の固有名詞は各社の商号、登録商標または商標です。
- その他、本資料に記載されている会社名、システム名、製品名などには必ずしも商標表示を付記しておりません。

PC サーバ FUJITSU Server PRIMERGY Web ページ : <http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/>

FUJITSU

shaping tomorrow with you